50年目の ぴっぷスキー場にセンターハウス「スキップ」がオープン

平成28年12月1日、ぴっぷスキー場にセンターハウス「スキップ」がオープンしました。

建設総工費は約4億円。総床面積は約700㎡、鉄筋コンクリートの平屋建て。室内には総合案内のほか、レストランや休憩所、売店、キッズルームなどを備えています。

「スキップ」という愛称は一般公募により、122点の中から選ばれました。「スキー」と「ぴっぷ」をかけ合わせた「スキップ」。スキーを楽しみに来たお客さんの心がワクワクと弾む様子をイメージしています。

ぴっぷスキー場は昭和41年、当時の久保田信次郎町長が私財を投じて、現在のスキー場内の一部の山林を購入したことに始まり、開発が進められました。

平成2年、現在ある9コースが全て完成。5年には来場者数、リフト収入ともに盛況を迎え、リフト乗り場には長蛇の列ができました。

その後、経済状況の変化からスキー人口が減少したものの、近年は家族向けの料金プランやサービスを充実したことで、ぴっぷスキー場を訪れる人が増えつつあります。

「新しいスキップは、広くて暖かいよ」と笑顔を見せるのは比布町立中央小学校3年の丸谷一颯（いぶき）くん。比布スキー少年団に所属し、毎週末、ぴっぷスキー場に通っています。

「スキーはすごく楽しい。いつも、おにぎりを持っていって『豚汁』と一緒に食べるんだ。練習後の『あげたい焼き』もすごくおいしいよ」。

身近にあるぴっぷスキー場。スキー場で経験したことは、大人になっても、きっと忘れることはないでしょう。

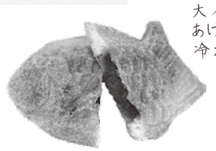
ぴっぷスキー場を通じて育まれる郷土愛は、いつまでも変わることなく、ふるさと比布町への思いとして、未来へとつながっていきます。

スキー×ぴっぷ
ぴっぷスキー場センターハウス「スキップ」

小さなお子さんが遊べるキッズルーム

ゲレンデを眺めながら、ゆったりのんびりできるよ♪

スキー大会で健闘するスキー少年団員


大人気のあげたい焼き！冷えた体を温めます。

スキー少年団の大石陽斗くんと丸谷一颯くん（写真右）

まちのできごと Town News

2016.3- 2017.2

平成28年
- **3月13日** 旭川比布同郷会が総会を開催
- **3月15日** 新しい比布駅舎がオープン
- **4月1日** 比布駅交流スペースにピピカフェ
- 比布駅がオープン
- とっておき濃厚たまごかけごはんセットが販売開始
- **4月29日** 荒尾孝司さんが藍綬褒章を受章
- **5月4日** 菅野優斗さんが第10回津軽三味線決定戦で日本一に輝く
- **5月9日** 比布中学校3年生が修学旅行で東京を訪問。東京比布会役員らと交流会を開催
- **6月25日** 東京比布会が総会を開催
- **7月10日** 札幌比布会が総会を開催
- **7月24日** 久保田夏生さんが第79回全日本ペン書道展覧会硬筆の部で大賞を受賞
- **9月4日** 比布駅グランドオープン
- 澁谷興二さんが育てたカボチャがシンデレラ夢パンプキンコンテストでグランプリ賞を受賞（244.6㌔）
- **10月25日** 比布町老人クラブ連合会が設立50周年記念式典を開催
- **11月1日** 旧蘭留小学校校舎を活用した24時間会員制スポーツジムがオープン
- **11月3日** 比布剣道連盟が全日本剣道連盟少年剣道教育奨励賞を受賞
- **11月13日** ロンドン五輪卓球女子銀メダリストの平野早矢香さんが君の夢プロジェクトで来町。比布中卓球部員に実技指導
- **12月1日** ぴっぷスキー場にセンターハウス「スキップ」がオープン

平成29年
- **2月11日** ぴっぷスキー場ジンギス感謝デーを開催

比布駅のグランドオープンに際し、昭和55年に比布駅で撮影されたビップエレキバンのCMに出演した樹木希林さんからメッセージが届きました。

北海道比布町のとっておき濃厚たまごかけごはんセット

誕生しました！

平成28年3月、比布町に新しい特産品が誕生しました。

その名は「北海道比布町のとっておき濃厚たまごかけごはんセット」。大熊養鶏場のブランド卵「かっぱの健卵」と上川農業試験場で開発された北海道米の最高峰「ゆめぴりか」、さらに2年かけて育て、厳冬期に収穫される小ねぎを使った「ぴっぷ小ねぎ醤油」をセットにした「たまごかけごはんセット」です。

この商品を開発したのは、町教育委員会が主催したまちづくりリーダー育成プロジェクト事業の参加者です。商工業をテーマに開かれた講座の中で、「年間を通じて町をPRできる特産品が少ない」という意見から、地域に根付く新たな特産品開発が始まりました。

商品には米と卵を使うことが決まったものの、その加工方法に頭を悩ませた参加者たち。そこで、講座の講師を務めていた旭川大学経済学部の江口尚文教授から学んだ「イノベーション（新結合）」という手法を用いて、現存する商品を組み合わせて、新たな商品を作り出すことにたどり着き、素材の味をそのまま味わえる「たまごかけごはん」を商品にすることにしました。

調味料の醤油は研究の末、小ねぎ「旬の彩り。」を炒めて混ぜ込み、ねぎの風味が最大限に生かされた味わい深い醤油ができあがりました。

卵、米、醤油とすべて地元産のものを使ったたまごかけごはんセットは、全国的にも例がありません。一粒一粒が美しいお米に、濃厚卵と香り高いねぎ醤油をたらりとかけてほおばると、やみつきになりますよ。

開発に携わった大熊勝幸さんと荒尾一之さん

ふるさと納税は「ふるさとチョイス」で

全国どこにいても、ふるさとチョイスのサイトから、簡単、手軽に「ふるさと納税」ができます。クレジット決済もでき、大変便利です。金額に応じて、お米やたまごかけごはんセットなどの返礼品が選べます。

インターネットで検索
ふるさとチョイス　比布町

ふるさと納税で比布町を応援してください！

たまごかけごはんは、比布駅内ピピカフェ比布駅で食べられますよ！
ピピカフェ比布駅店長 亀海夏子さん

ふるさと会から

各会では会員を募集しています。各連絡先または比布町役場総務企画課広報係へお気軽にご連絡ください。

平成28年3月13日に開催された総会には会員104人が出席。久しぶりに会う友人らと近況などを報告し合い、楽しいひとときを過ごしました。

旭川比布同郷会
- ■会　長　合田春夫さん
- ■会　員　約350人
- ■総　会　毎年3月中旬ごろ
- ■会　費　5,000円程度
- ■連絡先　今野浩安さん ☎0166-61-4492

平成28年7月10日に総会を開催。会員94人が出席し、特産品販売が行われたほか、中学校の校歌を合唱し、ふるさとを懐かしみました。

札幌比布会
- ■会　長　橋本芳枝さん
- ■会　員　約400人
- ■総　会　毎年7月上旬ごろ
- ■会　費　5,000円程度
- ■連絡先　大谷知彰さん ☎011-772-2804

平成28年6月25日に開催した総会には会員59人が出席。比布産米の試食が行われ、ふるさとの味を楽しみながら、思い出話に花を咲かせました。

東京比布会
- ■会　長　牧野　正さん
- ■会　員　約350人
- ■総　会　毎年6月下旬ごろ
- ■会　費　8,000円程度
- ■連絡先　深瀬和昭さん ☎0485-54-6765